

奈良県スポーツイノベーション推進本部 設立総会及び第1回本部委員会 議事録

日 時：令和6年4月17日（水）10：30～11：30
会 場：奈良県コンベンションセンター
出席委員数：17名

（1）開会行事

1) あいさつ

奈良県知事 山下 真

2) 本部長承認

奈良県スポーツイノベーション推進本部本部長を山下知事とすることで承認。

3) 委員紹介・挨拶

（2）設立総会 （司会 市井奈良県スポーツ振興課課長補佐）

1) 報告案件・・・資料 P3～5

◆奈良県より奈良県の競技力向上の考え方と奈良県スポーツイノベーション推進本部の設立趣旨について説明。

趣意書について、承認された。

2) 第1号議案・・・資料 P7～8

◆奈良県より、奈良県スポーツイノベーション推進本部規約（案）を説明。

第1号議案について承認され、奈良県スポーツイノベーション推進本部が設立された。

（3）第1回本部委員会 （司会 山下本部長）

1) 第1号議案・・・資料 P10

・推進本部規約第6条2項及び3項に基づき、副本部長に池田委員（奈良県スポーツ協会会長）と大石委員（奈良県教育長）を、監事に中村氏（大和信用金庫理事長）と

畑澤氏（奈良県会計局長）を選任。

2) 第2・3号議案・・・資料 P11～14

◆事務局より、令和6年度事業計画案、令和6年度予算案を説明。

- ・競技団体の活動支援について、奈良県スポーツ協会への事業補助という形で、県内の選手強化、指導者の強化育成を行う。
- ・7月31日に親子、8月1日に子ども向けにスポーツ能力測定会を開催。
- ・昨年度の測定会の結果より選抜された児童に対して月1回程度育成トレーニング、年3～4回程度の競技体験会を開催。
- ・アスリート県内定着プログラム推進事業として「ならアスリートキャリアセンター」を立ち上げ。マッチングアドバイザーを設置し、県内企業とアスリートを繋ぎ、アスリートが県内で働きながら活動する支援を企業に行っていた。
- ・県民スポーツ大会開催の支援。
- ・国スポの競技会場地として第一次選定された市町村において、競技団体が主となり地域住民を対象とした競技体験イベントを実施。
- ・働き盛り世代や子育て世代の無関心層に対する取り組みとして、ショッピングモール等で体力測定を行い、日頃の運動不足に気づいてもらう。
- ・山間部での高齢者を主なターゲットにして運動教室を開き、市町村を巻き込みながら1人でも運動ができる環境を構築する。
- ・奈良県負担金として予算確保しているものを割り振り、取り組みを進める。

(意見等)

- 自治体では部活動の地域移行が現在議論となっている。単独の学校ではサッカーのような大人数のチームが組めなかったり、レスリングのようなメジャーではないスポーツはできなかったりする。やりたくてもやれないものの裾野を広げる場として地域移行が重要と思う。当本部の予算に入れるかどうかといった大きな話ではないと思うが、奈良県や当本部でも部活動地域移行や、部活動を通じた様々なスポーツの機会確保、プロアスリートからの指導を受ける機会を念頭に置いて議論いただければ。（小紫委員）

→ 令和6年度の奈良県教育委員会の予算で中学校等のクラブの地域移行に向けた予算をかなり増額し、地域移行の受け皿となる地域のスポーツ少年団等の指導員の確保等のための予算を拡充している。（山下本部長）

第2・3号議案について、承認された。

3) 報告・・・資料 P15

◆事務局より、今後のスケジュールを説明。

- ・事業計画に沿って、的確かつ適切な事業展開を進める。
- ・検討部会では、奈良県スポーツイノベーション推進計画の検討を進め、令和7年度推進本部にて諮る。

以 上